





京都六條
三筋町
重井筒の娘
於菊



相州鎌倉
吉龍院の
小姓
吉三郎

鎌倉米町
八百屋の娘
於七

ついでに糸小夫ならぬかきさきと
 けしきりぬのぬつふひぬちりくるホウの
 さまのしりぬぬちりくるホウの
 むんできさきぬぬちりくるホウの
 むんできさきぬぬちりくるホウの

みまぢまぢおつぢの湯
 ぬのさとしおとすおの
 ぬのさとしおとすおの
 ぬのさとしおとすおの
 ぬのさとしおとすおの

ひまらかさん
 ひまらかさん
 ひまらかさん
 ひまらかさん
 ひまらかさん

みまぢまぢおつぢの湯
 ぬのさとしおとすおの
 ぬのさとしおとすおの
 ぬのさとしおとすおの
 ぬのさとしおとすおの



ひまらかさん
 ひまらかさん
 ひまらかさん
 ひまらかさん
 ひまらかさん

ひまらかさん
 ひまらかさん
 ひまらかさん
 ひまらかさん
 ひまらかさん



〇あともみあつて...
 かまへ...
 て...
 む...
 こ...
 い...
 と...

〇あともみあつて...
 かまへ...
 て...
 む...
 こ...
 い...
 と...



井筒屋

仙女香 坂本氏製
 兼香 坂本氏製



〇あともみあつて...
 かまへ...
 て...
 む...
 こ...
 い...
 と...

〇あともみあつて...
 かまへ...
 て...
 む...
 こ...
 い...
 と...

かどて... ちり... ろく... み... 百... 大...



あはれ... ちり... ろく... み... 百... 大...

あはれ... ちり... ろく... み... 百... 大...



あはれ... ちり... ろく... み... 百... 大...



あつちのうらとら
 こころらびちち
 まのたひわびますと
 ひすめのわらるもの
 あせんあせん
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女

これさあやのわすれ
 あつちのうらとら
 こころらびちち
 まのたひわびますと
 ひすめのわらるもの
 あせんあせん
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女



あつちのうらとら
 こころらびちち
 まのたひわびますと
 ひすめのわらるもの
 あせんあせん
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女

これさあやのわすれ
 あつちのうらとら
 こころらびちち
 まのたひわびますと
 ひすめのわらるもの
 あせんあせん
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女
 舟のあつちの女

つひに... 柳亭校の序文部分

上へ... 柳亭校の本文部分

柳亭校

貞秀画 柏琳作

貞秀画の本文部分

修紫田舎源氏

当年十八編より廿二編まで開板おほくはらす

一筋道雪眺望

世話蒙求

紫房紋笈箱

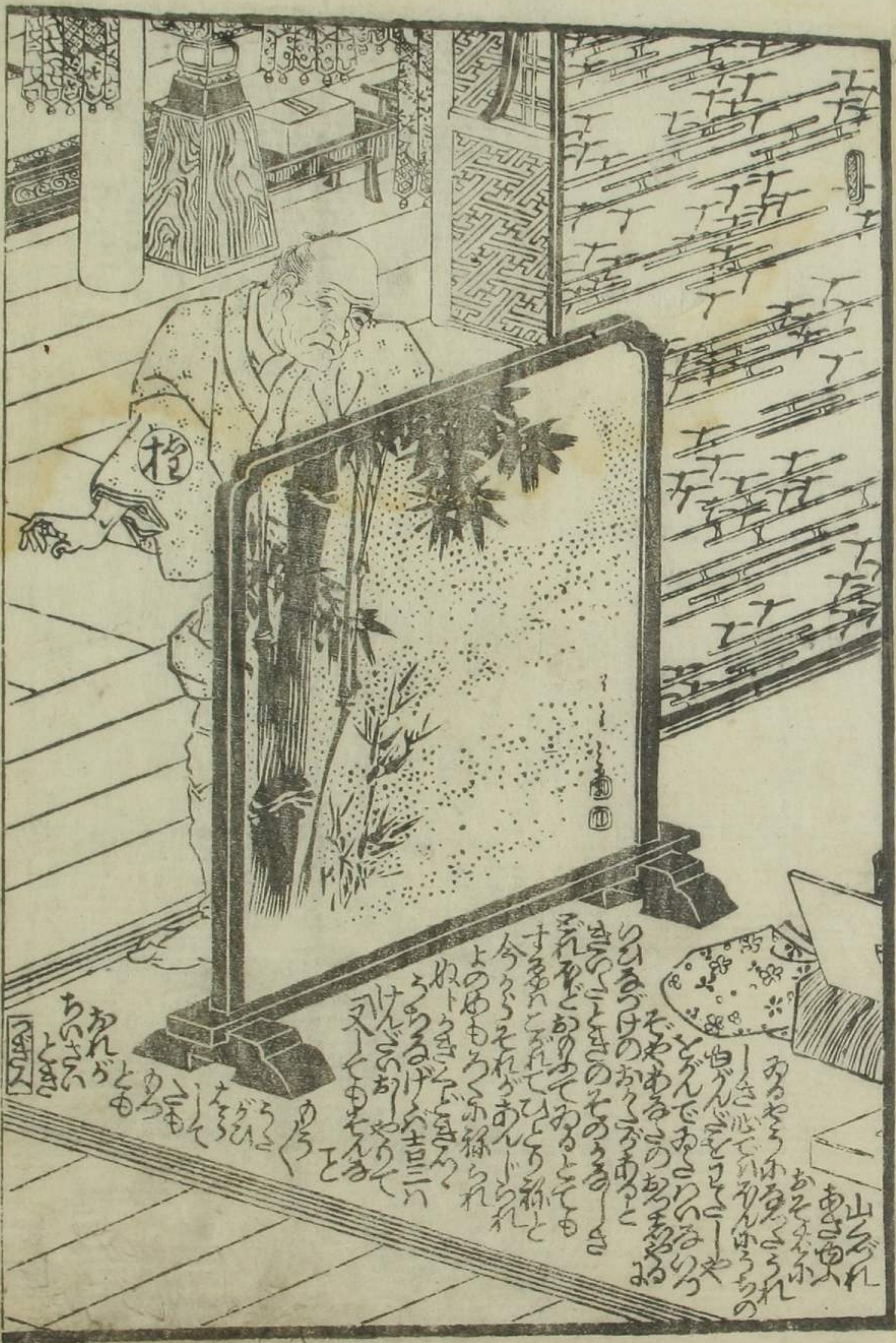
糸柳花縁結

種彦校合 仙客草... 全六冊 歌川貞秀画

書物地本錦繪問九通油町仙鶴堂鶴屋喜右衛門

昔漸まぢちんとて... 二冊 歌川貞秀画





ち七

ついでに七ツのんごさつづき
 ひとあつたどとのこし
 エアつけざいのこころさ
 りんごつづてり石るしでこれ
 まるしるさめてゆつ
 りんごつづてり石るしでこれ
 まるしるさめてゆつ
 りんごつづてり石るしでこれ
 まるしるさめてゆつ



あつたどとのこし
 エアつけざいのこころさ
 りんごつづてり石るしでこれ
 まるしるさめてゆつ
 りんごつづてり石るしでこれ
 まるしるさめてゆつ
 りんごつづてり石るしでこれ
 まるしるさめてゆつ



種彦の神

種彦の神
 種彦の神
 種彦の神

種彦の神
 種彦の神
 種彦の神

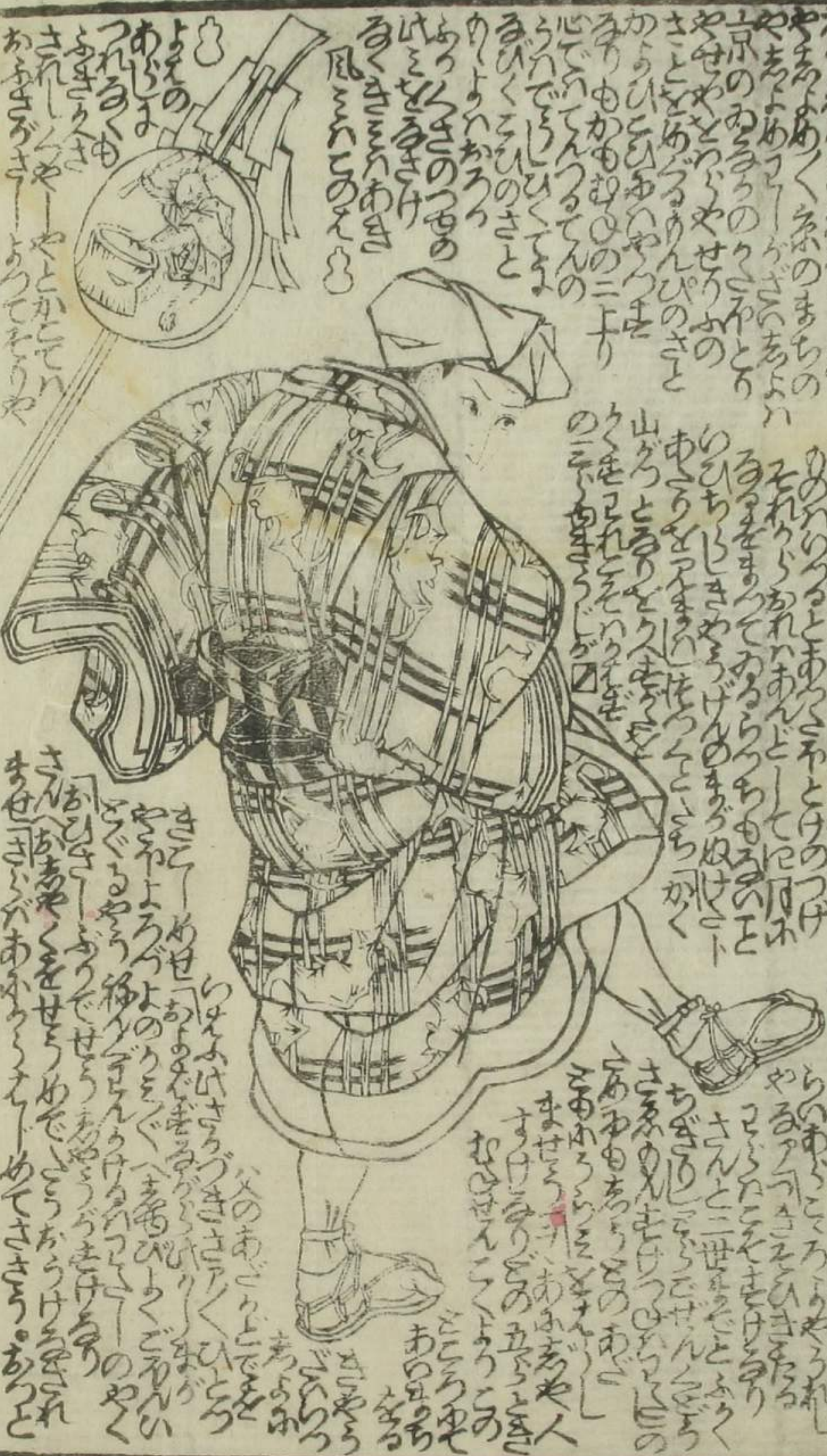


種彦の神
 種彦の神
 種彦の神

ついでにとまるまゝの
 のちやをこぬれはよ
 かりつくまんまのこ
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの

右の又そしる工との
 のちやをこぬれはよ
 かりつくまんまのこ
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの

ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの



ついでにとまるまゝの
 のちやをこぬれはよ
 かりつくまんまのこ
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの



ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの
 ちもあらさるまゝの

天保丙申春

通油町

鶴屋新坂

仙客亭柏琳作
紫房
紋の笈箱



下



此の巻は、
 江戸の町に
 ありし、
 昔の物語
 を、
 今も
 語り
 傳へ
 らる
 こと
 あり
 けり
 云々



紫房の双箱
 柳亭校 貞秀画
 拍琳作
 鶴屋 梓行

下巻梅の巻

鶴
 梅
 山
 人



あつちからとやうにうしろをむいて
あつちからとやうにうしろをむいて
あつちからとやうにうしろをむいて

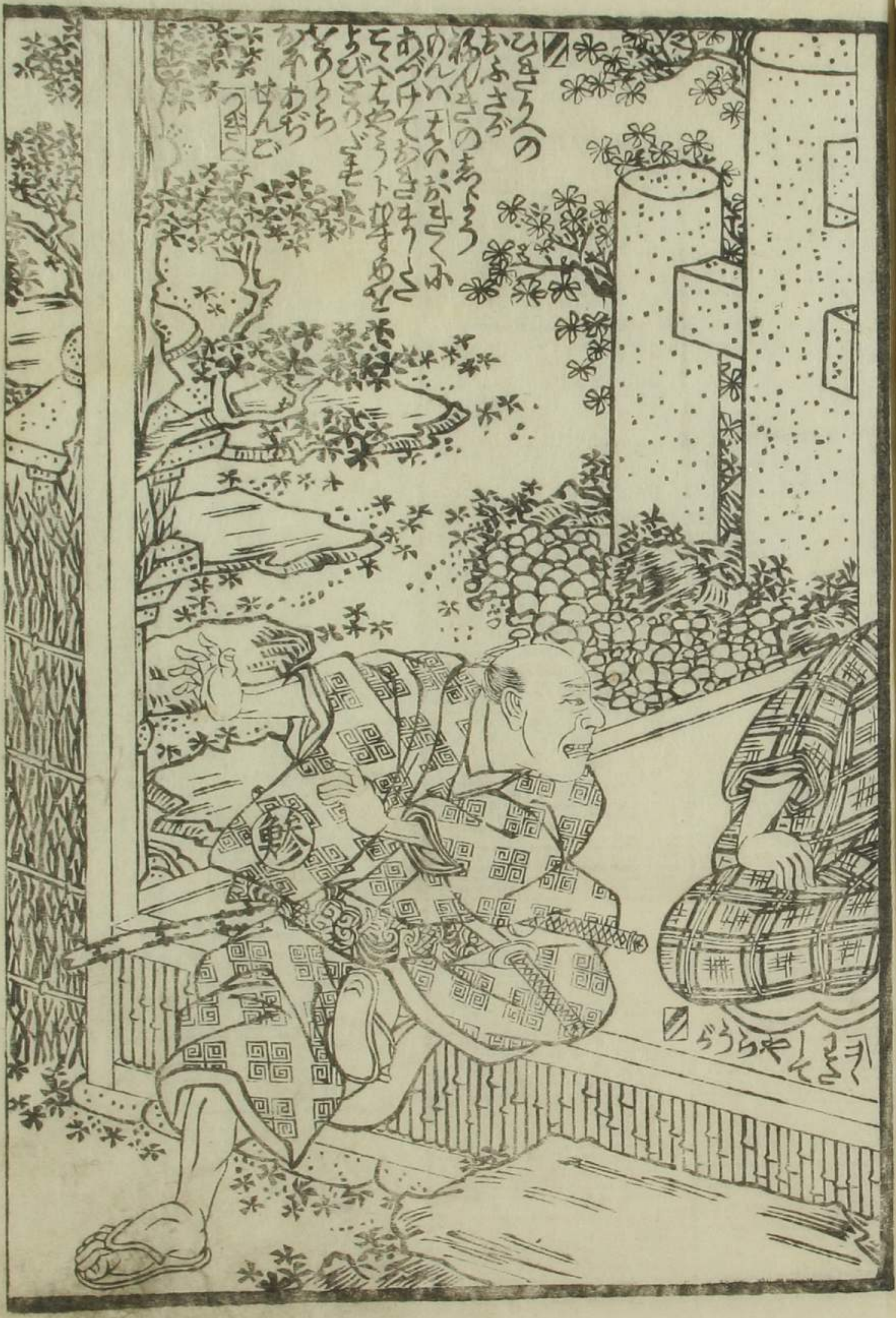
あつちからとやうにうしろをむいて
あつちからとやうにうしろをむいて
あつちからとやうにうしろをむいて

あつちからとやうにうしろをむいて
あつちからとやうにうしろをむいて
あつちからとやうにうしろをむいて



あつちからとやうにうしろをむいて
あつちからとやうにうしろをむいて
あつちからとやうにうしろをむいて

あつちからとやうにうしろをむいて
あつちからとやうにうしろをむいて
あつちからとやうにうしろをむいて





ついでに... 月夜... 松竹...
 ついでに... 月夜... 松竹...
 ついでに... 月夜... 松竹...

日... 月... 松竹...
 日... 月... 松竹...
 日... 月... 松竹...

ついでに... 月夜... 松竹...
 ついでに... 月夜... 松竹...
 ついでに... 月夜... 松竹...



ついでに... 月夜... 松竹...
 ついでに... 月夜... 松竹...
 ついでに... 月夜... 松竹...

油提の場... 月夜... 松竹...
 油提の場... 月夜... 松竹...
 油提の場... 月夜... 松竹...

ついでに... 月夜... 松竹...
 ついでに... 月夜... 松竹...
 ついでに... 月夜... 松竹...

五の巻... うちあけて... 父のあつた... 母のあつた... 父のあつた... 母のあつた... 父のあつた... 母のあつた...



Vertical text on the left margin of page 6.

六の巻... 吉... 母のあつた... 父のあつた... 母のあつた... 父のあつた... 母のあつた... 父のあつた...



Vertical text on the left margin of page 5.





お七

お七

五平...の...
の...
の...
の...

あ...の...
あ...の...
あ...の...
あ...の...
あ...の...

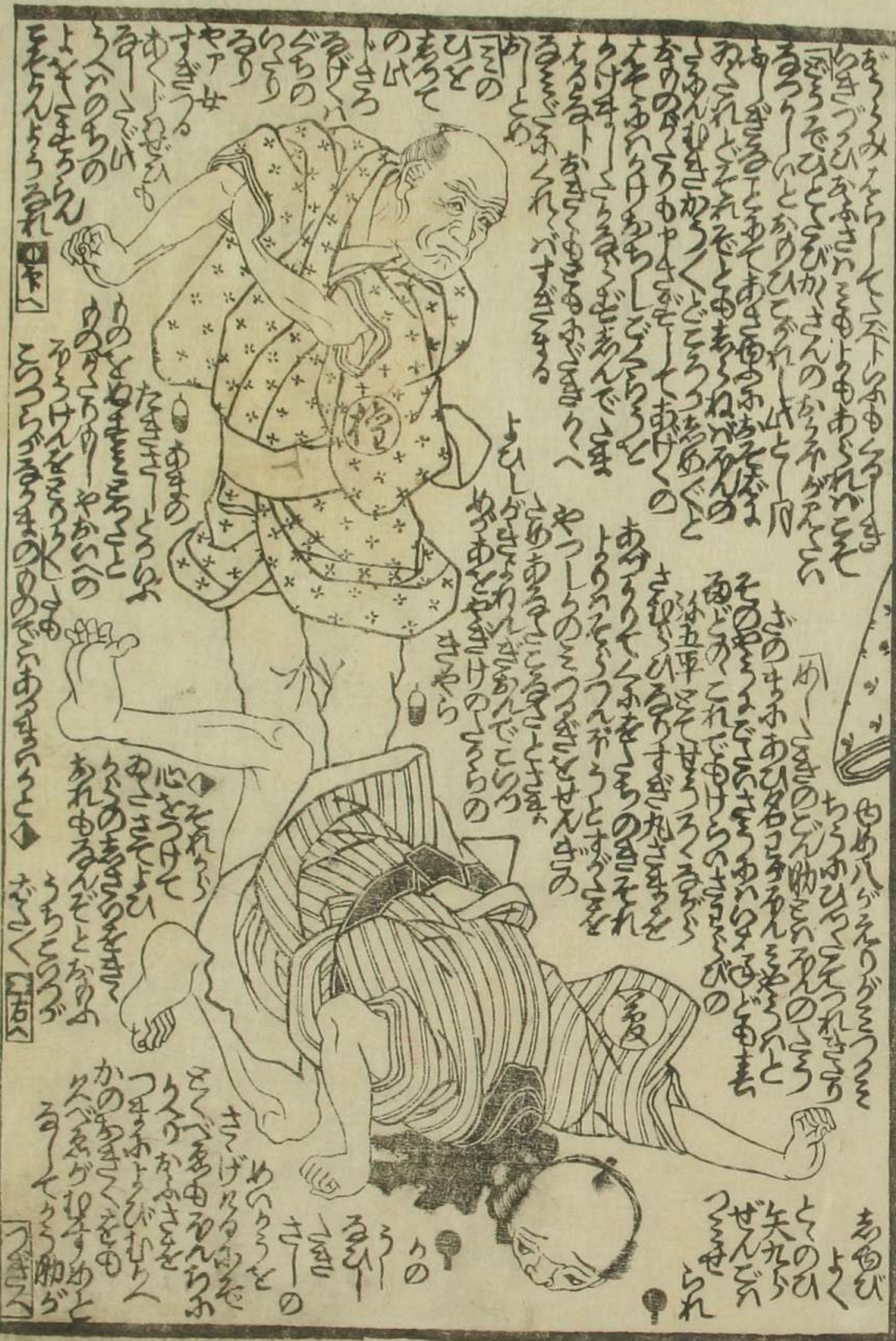


あ...の...
あ...の...
あ...の...
あ...の...

あ...の...
あ...の...
あ...の...
あ...の...
あ...の...



あ...の...
あ...の...
あ...の...
あ...の...



天保七年申春新彫

山東京山作
琴声女房形氣 全四冊

歌川國貞画

柳亭徳井作
森羅万象心意氣 全四冊

歌川國芳画

柳亭種彦作

八冊
浮波さし

歌川貞秀画

関亭傳次作
烏勘左衛門忠義傳 全四冊

歌川國芳画

宝田千町作
縮葉山操の松枝 全四冊

歌川國芳画

笠亭仙果譯
國字水滸傳 十四編 四冊

歌川國芳画

柳亭種彦
校合
相部磯川
仙客亭柏琳作
國貞歌川貞秀画



所か不の茶切りの
羨艶仙々香八八冊
黒油羨羨香八八冊
南條三郎
二丁目西側
以ては別表
結春紅花の



書物錦繪
問屋鶴屋喜右衛門
江戸通油町

